

2019年9月6日
住友生命保険相互会社

ASEAN 諸国等のマイクロファイナンス機関向け投融資を行う ファンドへの追加出資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、9月3日、マイクロファイナンス^{※1}機関（以下「MFIs」）向け投融資を行うために BlueOrchard Finance Ltd 社が組成し、運営を行う Japan ASEAN Women Empowerment Fund（以下「本ファンド」）に関する追加出資契約書に調印しました。

本ファンドは、ASEAN 諸国等における女性の社会進出、貧困削減・成長促進、雇用・起業機会の創出を目的に、2016年に運用を開始したファンドであり、7ヶ国計21のMFIsを通じて約23万の女性中小零細事業者を支援しております。住友生命は、2016年9月に投資契約を締結しており^{※2}、これまで30百万米ドルを出資実行しておりますが、今回は追加で最大30百万米ドルを出資予定です。なお、今回の追加出資には株式会社国際協力銀行、独立行政法人国際協力機構、および国内の機関投資家も参加し、ファンド出資総額は約120百万米ドルから約241百万米ドルに増額されます^{※3}。

住友生命は、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG投融資に取り組んでおり、本ファンドへの追加出資につきましても、その一環として行うものです。

今後も、ESG投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでまいります。

※1 マイクロファイナンスとは、低所得層を対象に行われる小規模金融のことです。

※2 2016年9月12日付ニュースリリース

(<http://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2016/160912b.pdf>) をご覧ください。

※3 2019年9月5日付 BlueOrchard 社のニュースリリース

(<https://www.blueorchard.com/expansion-prestigious-women-empowerment-fund/>) をご覧ください。

以上